

ピアチャーレ支援プログラム

作成日

令和7 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもたちそしてご家族に皆さんが自由な心で安心して過ごせる場所、楽しい!うれしい!そして「ありのままの心」を大切に、を理念としています。		
支援方針		音楽やダンス、アートなど様々な取り組みを自分自身でそして家族や友達と楽しむ中で、「自己表現力・生活に必要な力・社会で必要な力」を楽しみながら身に着けられるように、個別・小集団での支援を行います。		
営業時間		授業日 12：30～18：30（療育時間 13：00～18：00） 学校休業日 9：30～17：30 （療育時間 10:00～17：00）	送迎実施の有無	無し
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	好きな音楽や楽器、楽しくいろいろな取り組みに挑戦していくことで、自分の思いを表現すること・心の安定（心が安定する方法を身に着ける）・感情のコントロールができることを目指します。これらの支援は本児自身が進んで取り組み自分で思いを表現できるようになるために、本人のペースに寄り添いながら行います。		
	運動・感覚	筋力や手先や腕、脚感覚の強化、姿勢の保持などを目指すため、歌や様々な楽器を使ったり、アートで様々な感覚や手先を使った作業をしたり、ダンスでの身体を動かすことを行います。ひと月当たりのプログラム：音楽プログラム2～5回（それぞれの予約の希望回数による）、アート不定期、ダンス1回		
	認知・行動	プログラムはある程度ルーティン化しており、指示に従って歌ったり踊ったり・楽器を取って選んで演奏したりなどしていく。楽器の種類やリズムパターン、振付などをわかりやすいよう声掛けまたは実践し、真似して認知し行動できるように支援します。		
	言語コミュニケーション	演奏や体を動かすこと、制作など言葉以外のもので自分の思いを表現したり、言葉で伝えられるようにできるように支援します。家族や友だち、指導員と音楽などで表現することで仲を深め言葉のコミュニケーションにもつなげていけるように支援します。また、不適切な言葉や表現方法に対しては、人やその場に応じた適切な取扱いができるよう本児が理解できる方法で時間をかけて支援します。		
	人間関係社会性	個別の支援から取り組み指導者や家族に相談しやすい安心して過ごせる関係環境作りをしていきます。小集団に参加できるようになればその場でのルールや役割を知り行動したり、本児自身が考えて行動できるように声掛け等をしながら支援を行います。		
家族支援		家族全体（本児のご両親やきょうだいなど）に対して本児の進路や生活における困りごとなどの相談に応じます。また、児童福祉制度の利用や、学校卒業後の地域生活に関する情報提供支援を行います。	移行支援	進学や卒業後の就労など本児の生活環境の向上のための移行支援を行います。その際は、学校、相談支援事業所、就労先等と連携し、調整と情報交換等を行い、本児が円滑に移行できるよう支援します。
地域支援・地域連携		地域のお祭りなどの行事参加を企画します。また発表会やコンサート等の開催の際には地域への宣伝をしたり招待をするなどして、本児が地域において障がいのない子どもとの活動をもってインクルーシブ（共生社会）教育が実現されることで、本児の特性が地域で発揮され、併せて地域に理解される機会をつくります。	職員の質の向上	本児へ提供する支援の質を向上させるため、定期的に職員に対し研修（個別支援と計画の作成、コミュニケーション支援、福祉制度、虐待防止と身体拘束非常災害対策、感染対策等の衛生管理、ペアレントトレーニングなど）を行います。
主な行事等		月1回ライブの開催、8月らんらんライブ（発表会）、3月ホップステップライブ（音楽クラブ発表会） 防災訓練（避難訓練、消火訓練、その他避難場所の確認など）		